

# 日高教定通部連部

2009年3月24日

No. 42

発行：日高教定通部

teitu@nikkokyo.

zenkyo.org

## 生徒の経済的負担の軽減、 学習条件の改善など 豊かな定通教育を

### — 日高教定通部 2009 年度総会 —

2009 年度定通部総会は 2 月 22 日全国教育文化会館にて開催されました。総会は 23 組織から 35 名が出席し 2008 年度総括と 2009 年度方針を決定し、新役員体制を確立しました。

定時制・通信制高校に貧困と格差など構造改革の矛盾が集中的にあらわれ、マスコミ（NHK）も傍聴するなか、討論・交流が行われました。



### 佐古田日高教副委員長のあいさつ

構造改革の矛盾を集中的に定通制の生徒がこうむっています。この間、日高教は「二つの運動」に全力をあげてきました。アルバイトなど働く定通生徒の権利の確立が求められます。労働の厳しさは最低賃金すら守られない程大変な状況にあります。しかし、日本の行政は、定時制高校は不要であるとし、切り捨て政策をすすめています。これをストップさせ教育の切り捨てをやめさせるためにも、定通教育を守る運動を、より広く大きな活動にして欲しいと思います。

### 長岡定通部長あいさつ



昨年岡山で開かれた「全国定通教育学習交流集会」では、不払い残業や研修という名目でのただ働きなどの事例など、定時制を卒業した若年労働者の劣悪な労働環境が浮き彫りになりました。また、ある定時制高校からは、母と子ども 2 人の家庭で、母親が休職となり、3 人分の生活費を弟が稼いで、月 10 万円の生活費で生活をしている事例が報告されました。生活保護がなかなか認定されないという問題も大きいです。別の定時制高校ではクラスの 8 割が母子家庭であるという報告もありました。2004 年以降、教科書・給食の補助金を打ち切る自治体も多くなっています。バイト代が 3 万円で、ここから交通費や電話代などの費用を払っていたら、何も残りません。定時制通信制の生徒にとって補助金は不可欠です。

日高教の 10 月末の調査では、就職内定率が全日普通科で 62.4 %、全日制職業科で 82.7 %、定時制は 40.4 %となっています。就職が内定しても定時制では不安定雇用の率がダントツに高くなっています。文科省の調査において、内定取り消しが 267 名にもなっています。この総会の中で、定時制通信制の生徒の現状を報告し、これらの問題にどのような

にとりくんでいるのかなど、活発な議論を期待します。

## 討論

### 統廃合・生徒募集減などについて

★**京都市**：京都では私立の広域通信制で学ぶ生徒が増えていて、定時制高校で学ぶ生徒より広域通信制高校で学ぶ生徒の方が多くなっている。全日制を退学した生徒や、不登校経験者などが多く集まっていて、ここの教職員も懸命に仕事をしている。京都ではこれらの学校とも交流をしていく必要があると考えており、各県でも広域通信制の状況を調査して、交流をしていくべきであると思う。

★**青森**：北斗高校（3部制定時制）では午前部が1～4時間目の授業、午後部が5～8時間目の授業、夜間が9～12時間目の授業となっている。生徒はここから週20コマの授業を受ける。各部とも40名ずつの募集で、午前部は2.5倍になっている。夜間部は中学校での学習が出来ていない生徒が多く、分数など出来ない生徒が多い。同じ学校であるにもかかわらず、午前・午後・夜間の中で大きな差ができています。

★**北海道**：北海道では、ピーク時の1973年頃には、220校の定時制高校があった。現在は48校で、その内42校51間口が募集されている。近年、職業科の定時制が募集停止になっている。北海道では都市部と郡部では状況が異なる。札幌では、募集定員を超える学校がある。今年も3校が1次募集で定員を超えていて、不合格を出さなければならない。道教委は06年以降「5月1日、1年の在学者が10名未満で、生徒の増加が見込まれない場合は、募集停止」という方針を出していて、地方では10名に満たず募集停止に直面している学校もある。面接で不合格を出さなければならない状況も、地方の募集停止も、生徒の学習権を守るために、何とかしなければならない。

★**神戸市**：神戸市教委は「充足率の低い」学校は間口減にする方向である。摩耶兵庫高校では、昼間部を増設する予定であったが、財政上の理由で出

来なくなった。そのため、夜間4間口を3間口に減らして、昼間部を1間口増やす計画をしている。

★**島根**：出雲高校は定時制だけの高校だったが、10年程前から昼間部も出来る。転勤した当初は、生徒の髪型や化粧などにたいへん驚いた。しかし、これらの行動を全て生徒の責任に帰することは出来ないと考えている。午前部は「やんちゃ」が多く、午後部は「不登校の生徒」が多い。90分授業を行なっているが、90分では生徒が持たない。他県の状況を聞きたい。

★**回答**：○岡山後楽館高校では100分授業（中高一貫校なのでノーチャイム）。正直なところ100分は持たないので、休憩を挟んで授業をしている。○福島郡山萌世高校でも90分授業で2単位を行なうことになるが、生徒は基礎学力がないので大変である。基礎学力を定着することを考えれば、45分を2回行なう方が良いのではないか。○富山では途中で5分間の休憩を挟んで行なっている。そうでないと、生徒も教員ももたない。

★**山梨**：山梨県では定通の学校が8校あり、2校が三部制、昼間部と夜間部の学校が3校、夜間の学校が3校ある。このような中で夜間定時制高校を、県教委は甲府に1校、県北に1校としようとしている。今までは2年続けて入学者が0人だったら募集停止だったのが、今年から1年でも10名以下だったら募集停止になる。県内では定時制の生徒は増えている。生活している周辺に学校がなくなると定時制に進学出来なくなる生徒が出てくる。

### 補助制度について

★**埼玉**：昨年、県教委が教科書・給食補助について補助を打ち切ると突然言い出した。90日以上条件で補助対象になっている生徒の数は1051人で、教科書補助が820万円、給食補助が640万円、合計で約1500万円。全日制の生徒も経済的に大変な状況なので定時制だけに補助することにはならないとしているが、全日制生徒にも補助す

るのが本来ではないか。生徒を励ます制度である筈なのに、既に入学した生徒の補助も打ち切るのは、約束違反である。補助打ち切りに反対する署名活動をしている。

★山口：山口県では〇 157 事件より給食のサンプルを残さなければならなくなった。給食費もとるようになり、給食をやめる学校が出始める。昨年中国の餃子問題があって以来、作業が繁雑きわまらない。給食の 30 分前に検食することになっているが、困難である。2 月になって、県から各校の様子を見に来た。「もし食中毒が出れば、文科省が来る」と言っている。生徒たちにとっては、大切な食事であり、何とか給食を継続したい。

★横浜市：横浜修悠館高校（県立・毎日登校出来る通信制）は、620 人の定員に 735 人が応募している。この高校では、教科書・ノートをもっていない生徒は学校に入れない。入学してもこぼれていく生徒が多く問題になっている。

08 年 11 月に横浜市立の給食費の値上げが行われた。12 月には、高校の校長会で定時制の夜間給食の値上げが提案された、2 月に市議会で可決され、4 月から値上げとなった。生徒は 1 食 120 円だったのが 300 円になり、補助申請者を認められた生徒は後で 76 円の補助金が還付されることになった。補助対象を拡大できるようにとりくみたい。

★愛知：教科書・給食の補助対象が 90 労働日から 180 日に変更される。2 月 16 日には牛乳代が 40 円の補助だったのが、半減し 20 円の補助とすることを県議会に提案された。

愛高教では 10 年ほど前から主任手当を拠出して、生徒の学資金にあてていて、約 70 名の生徒がこれを受けている。生徒の生活状況が大変で、事務担当者から、この学資金の問い合わせが来ている。

◎授業料の徴収方法について、全国で①毎月（12 回）、②毎月（10 回）、③学期毎、④年度当初一括、があることを確認。

## 特別ニーズについて

★高知：高知北高校は 3 部制高校でⅡ部は不登校の生徒の学校になっている。特別支援が始まってから、アスペルガーなどの生徒にかかりつきりになってしまった。2 年間特別支援モデル校となり、予算がついた。大学生・院生にサポートしてもらい、若い彼等の活動は新鮮で、生徒にも良かった。

★京都：福知山高校三和分校は昼間の農業科と家政科の定時制。なんらかの特別支援が必要な生徒と判定された生徒がいる。日高教定通部では文科省に「学校に応じた特別支援の専門知識のある教職員の配置」を要求している。

★大阪：橋下知事は学力テスト・体力テストともに低かったことをマスコミにアピールしてるが、大阪は生活保護受給率日本一、高校中退者率も日本一である。貧困の問題がその理由であることは明らかである。クラスで調べてみたら、32 名中 22 名が母子家庭で 2 名が父子家庭であった。学校全体では 220 名中 150 名が授業料を滞納している。今年卒業の生徒で、卒業式までにあと 6 万円を払わなければならない生徒もいる。40 名が奨励費を受けている。

少年院の職員と研修会を持った。少年院にいる子どもの中で、中卒者は 48 %。高校中退は 35 %。在学の者は 12 %である。学校とつながっていることで守れる事があり、定時制が受け皿にならないといけないと思う。また福祉の分野と教育の分野との連携も必要であると思う。福祉関係の方々も、子どもの貧困について教員がもっと声を上げて欲しいと言っている。ネットワーク作りをしていきたい。雑誌「福祉のひろば」の 3 月号に高校生座談会が出ている。3 月 8 日の NNN のドキュメントで高校の中退問題が放送される。こどもの日にも貧困問題をドキュメントで放送する。NHK もセーフティネットクライシスを放送する。

## 生徒の就労について

★長野：木曾地方の定時制で、JR は 3 時間に 1 本しかない。香川県の広さに定時制高校が 2 校しかない。名古屋に近いので、トヨタの下請け孫請

けの会社が多い。27歳の卒業生は、トヨタの下請け工場に働いていた。卒業後何の瑕疵もなく働いてきたが、2月19日クビを言い渡された。クビになる以前も、仕事がなかったので午後3時には帰っていた。このような企業が多く、また本人が退職願を出すようせまられているケースが多く生活支援センターでも問題を指摘されている。

地域の中学校に父母がフィリピンの子がいるが、昨年の9月にはこの親は木・金・土は仕事がないので来なくても良いと言われている。経済危機が叫ばれる以前から、外国人の労働者は既にこのような扱いをされている。

長野でも定時制つぶしが行なわれていて、定時制の生徒数が減っていない。以前までは高校生全体に対する定時制生徒の割合は1.6%であったが、最近では3.6%に上がっている。

★静岡：外国籍の生徒が多くなった。昨年の今頃(2月頃)はまだ大きな問題になっていなかったが、昨年の8月頃より生徒の親が解雇されるようになっていた。外国籍の人はもっと早く昨年の8月頃よりクビになっている。クラスの生徒の34名中18名が外国籍。全校でも100名中30名が外国籍の生徒である。かれらの親のほとんどが派遣で、仕事がなくなって帰国するようになった。生徒たちの生活の基盤が崩れて、手の打ちようがない。スズキ(自動車会社)の会長が、派遣切について「あの時の法改正が間違いだったが、こうなったのも国民全体の問題だ」と言っているが、とんでもない。連携した運動を進めて行きたい。

#### 定通手当など労働条件について

★京都：定通手当について、昨年夜間定時制5%、通信制3%の削減案が出され結局「府民の理解を得られない」という理由で、今までの10%から、夜間定時6%に、通信制が4%に削減された。産振手当も5%に削減されている。職場で署名と共に一人一言を集めて、100名以上の一言署名を集めた。

終業時間の9時半に帰れることはない。家庭訪問は勤務時間外の午前中にする。生徒の指導も

大変である。

#### 退任役員

定通部を支えて下さった4の方が退任されました。森さん、森田さんのご退職です。



左上：菊地信二(常任・北海道高教組) 左下：森公正(常任・青森高教組) 右上：飯塚忠(副部長・茨高教組) 右下：森田隆子(常任・埼高教)

#### 2009年度日高教定通部新役員体制



部長・長岡彰英(大阪府高教)/副部長・藤田章(茨高教組) 杉浦明雄(愛高教・愛知)/事務局長・馬場敏行(岡山高教組)/事務局次長・佐藤晶夫(長野高教組)/常任委員・新保敦(北海道高教組) 片桐拓(青森高教組) 佐藤元(埼高教) 菅谷保孝(京都府高) 松藤宏明(佐賀高教組)